



特集 1

森林へ

行こう

濃い緑がまぶしく目に映える季節です。
毎日暑いこの時期でも、

森林の中は涼しい風が通り抜けます。

森林の中を歩くだけで、爽やかな気持ちになります。

里山の木漏れ日の中で木登りやかくれんぼ。

トンボやセミ、カブトムシを捕まえたり、

木陰の泉で乾いたのを潤す。

そんな思い出はありませんか。

皆さん、夏休みの思い出づくりには、

森林に出かけてみましょう。



私たちに 欠かせない森林

人は太古から森林とともに
生き、森林の恵みを受け取っ
てきました。私たちの祖先は
山菜やキノコ、木材、薪などを
得ていただけでなく、炭や漆器
和紙づくりなどのものづくり
技術や茅場かやばなどの資産を守
り活用するための里山の掟おきてなど、
知恵や工夫により森林の文
化を創り上げてきました。
また、森林は降りそそぐ雨や

雪を柔らかい土壌に素早く浸透させて、水源のかん養や土砂の流出を防止するなど、ダムとの役割も果たしています。漁業も森林と無関係ではありません。豊かな森林の下流には豊かな川の幸、海の幸が育まれています。最近では、森林浴がストレスの解消に注目されています。樹木から放出される「フィトンチッド」と呼ばれる成分には、心身を癒してくれる効果があります。夏は三年のうちでも最高の放出量となります。

みんなで 行ってみよう

森林はたくさん生き物のすみかです。森林のすべての生き物が、食べたり食べられたり、寄生したり、互いに助け合ったりしながら生きています。大きな木に登ったり、抱きついたり、昆虫や動物を捕まえる…。生命や自然に直に触れ、その仕組みを学ぶことは素晴らしいことです。夏は植物も動物も昆虫も一番元気の季節です。さあ、森林にはどんな不思議が待っているのか、みんなで行ってみましょう。





もり 森林へ行こう! 「フォレストパークあだたら」編

ふくしま県民の森「フォレストパークあだたら」は、「森林との共生」をテーマにしています。

雄大な自然、森林の真ん中で、遊び・学び・働き・守り・暮らす…。

自然と人とのあるべき姿を学ぶことができます。

今回はふくしま・もりの案内人の会の蓮沼 昇さんと菅野 一さんに案内していただきました。



ルールを守って 安全に楽しく歩こう

まずは、森林へ入るときの注意です。森林は楽しい場所ですが、スズメバチやヤマシ、クマ、ウルシなどの危険な動植物も潜んでいます。また、森林の中で迷子になったら大変です。一人で行動せず、グループのみなどと一緒に行動しましょう。フォレストパークあだたらでは、自然の保全のため植物や虫などを持ち帰ってはいけないこととなっています。ルールを守って安全に楽しく森林を歩きましょう。さあ、出発です。

森林はひんやり、 緑のにおい

森林の中にやって来ました。生い茂った樹木に日差しがさえぎられ、こんなにも涼しく吹く風も爽やか。緑のにおいがします。足下を見てみましょう。街中のアスファルトと違ってとても柔らかく、ひんやりと湿っています。ほら、そこにはマツの赤ちやんが芽を出しています。自然の循環の一面面です。



クマに襲われない ためには？

案内図に大きな傷跡が！これはクマの爪跡です。クマは習性として縄張りに物を立てられると爪でひっかくのです。



福島県もりの案内人

自然観察会や野外活動、森林づくりなどを通して、一緒に学びながら森林の役割や大切さを広く伝えていく、ボランティアによる指導者です。県では、毎年、養成講座を開催しています。これまで254人が認定され、県内各地で活躍しています。



もりの案内人

ふくしま・もりの案内人の会

県もりの案内人の認定者で組織。会員数240人。
四季を通して各種体験学習の場へ指導者を派遣し、森林との共生を目指します。
●事務局 ☎0243(48)2040 [フォレストパークあだたら]



会長 永田 壮三さん

子供たちの「今日は楽しかった」との 一言がうれしいですね。

インタビュー

次の世代へ良好な自然を残したいと活動しています。五感を使って森林を理解していただくことで、自分を知り、生活を変え、社会のあり方まで変わればよいと思います。環境を汚染したのは人です。森林を歩けば、何をすればよいかわかります。環境のために一つでもいいから実行してほしいです。このことを子どもたちと一緒に一人でも多くの人に伝えていきたいです。

この木はクロモジです。葉っぱを揉むといいにおいがします。幹は和菓子などに添えられる高級楊枝になります。



葉っぱが手形のようなカエデの種はプロペラに似た形をしています。風に乗って遠くまで飛べるように工夫されています。

においや味を体験

勝手に入ってくるなどということでしょうか。クマに襲われたというニュースを聞きますが、クマはぼつたりと人間に出会ったため、驚いて襲ってしまうのです。クマのいる森林では、鈴などで「人間はここにあります」と教えてあげましょう。そうすると、本来は臆病な動物ですから近寄ってきません。



沢にやってきました。きれいな水が流れています。雨が降らなくても水は枯れることが

森林の水は冷たくてきれい

このウルシは私たちの生活にとっても役に立っています。お椀などの漆器にはこの樹液が使われているのです。



ウルシに注意!

皆さん、気をつけて!これはウルシの木です。肌の敏感な人は近寄っただけでかぶれることがあります。特に樹液は強烈なので注意してください。でも、

こちらはサンショウ。ミカンの仲間です。実や若葉を薬味として料理に使います。ちよとかじってみてください。どうですか、ピリピリとした刺激があるでしょう。

森林の散策も終了しました。自然を体全体で感じていただけでしたか。フォレストパークあだたらのほか、県内には森林散策ができる生活環境保全林などの施設がたくさんあります。夏休みに出かけてみてはどうでしょうか。



みんなで作品を持ちよって記念撮影!

ありません。森林から少しづつ、少しづつしみ出て来るのです。ここにはサワガニやサンショウウオがいます。見つかるかな。

木工クラフトに挑戦



松ぼっくりや木の枝を使った木工クラフト教室です。ナイフやのこぎりを使いますが、正しい使い方をすれば安全です。思い思いの作品づくりに挑戦しました。

● 森林散策ができる主な施設

施設名	所在地	主な施設	問い合わせ先	電話
ふくしま県民の森	大玉村	●森林館 ●オートキャンプ場 ●遊歩道	フォレストパークあだたら	☎0243(48)2040
県昭和の森	猪苗代町	●休憩所 ●遊歩道 ●広場	昭和の森管理事務所	☎0242(62)4799
県総合緑化センター	郡山市	●遊歩道 ●樹木見本園 ●広場	逢瀬公園・緑化センター管理事務所	☎024(945)1361
「半田山」生活環境保全林	桑折町	●遊歩道 ●広場 ●キャンプ場	半田山管理センター	☎024(582)4590
「高篠山」生活環境保全林	郡山市	●遊歩道 ●森の体育館 ●治山館	高篠山森林公園管理事務所	☎024(957)3748
「西の郷」生活環境保全林	西郷村	●遊歩道 ●広場 ●キャンプ場	西郷村観光課	☎0248(25)1111
「蓋沼」生活環境保全林	会津高田町	●遊歩道 ●バンガロー ●キャンプ場	蓋沼森林公園管理室	☎0242(54)4793
「観音沼」生活環境保全林	下郷町	●遊歩道 ●広場	観音沼管理棟	☎0241(67)3674
「なみえ」生活環境保全林	浪江町	●遊歩道 ●広場 ●宿泊施設	浪江町役場	☎0240(34)2111
「石森山」生活環境保全林	いわき市	●遊歩道 ●樹木園 ●広場	いわき市林務課	☎0246(22)7474

※その他県内には上記のほか27カ所の生活環境保全林があります。

豊かな森林を
守っていくために



手入れされず表土が流出してしまったヒノキ林

本県の総土地面積の約71%を占め、美しく豊かな県土づくりに欠かせない森林。ところが今、山村地域の過疎化、高齢化の進行、林業採算性の悪化などから、手入れが行き届かないため、荒廃が進んでおり、水の供給や山地災害の防止など、森林が持っている多面的機能を十分に発揮できない恐れが生じています。

県では、森林の整備や保全



福島県知事
佐藤 栄佐久

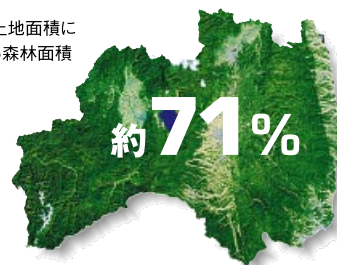
県民一人一人が
参画する森林づくり

私たちは、水質日本一を誇る猪苗代湖に代表される優れた水環境、渇水や洪水の緩和による安全で快適な生活環境など、さまざまな恵みを森林から受けています。

しかし、産業構造や生活様式の変化などにより、森林と人とのきずなが薄れ、これまで森林を守り育ててきた農山村の努力だけでは、ふくしまの森林の多面的機能

能を維持することが困難になっています。県では、大切な森林を健全な状態で未来の世代に引き継ぐため、県民の皆さん一人一人の参画と支援をいいただきながら、森林の整備や保全活動など森林づくりをさらに推進していきます。県民の皆さんのご協力をお願いします。

県の土地面積に
占める森林面積



活動に取り組みとともに、18年4月から「森林環境税」を導入し、さらに森林を守り育てるための新たな施策を進めて行きます。

● 県の取り組み

豊かな森林づくり	● 機能区分に応じた森林づくり
県土づくり	● 森林の働きによる県土保全 ● 森林の保全
産地づくり	● 県産木材などの安定供給体制の整備 ● 県産木材などの需要拡大 ● 特用林産物の振興
人づくり	● 林業担い手の育成・確保 ● 林業事業体の育成強化 ● 技術の開発と普及
森を育む心づくり	● 県民参加による森林づくり運動の推進 ● 緑化の推進

問 県庁森林計画グループ ☎024(521)7422 ①http://www.pref.fukushima.jp/forest_c/

「ぶどう」

果実編



いいもの
発見
うつくしま



ぶどうは、紀元前四千年頃には小アジアやカスピ海沿岸地方などで栽培されており、古くから人々に親しまれてきた果物です。

最近では、果実に含まれるポリフェノール類が注目されており、ガンや動脈硬化の予防、目の疲労回復などに効果があることが知られています。

「巨峰」「高尾」などの品種が有名ですが、本県果樹試験場で育成されたオリジナル品種「あづましずく」も人気のある黒色の大粒種です。

8月上中旬から収穫されます。ぜひ、食べ比べてみてください。

【豆知識】

美味しいぶどう選びのポイントは、軸が緑色で太く、果粒に弾力があるものです。また、房の中では、上の粒の方が下の粒より甘みが多くなります。

● 甘みの強さの順

